



2015 年 9 月 30 日

PayPal Pte. Ltd. 東京支店

ペイパル、中国海外ネット購入者と日本国内ショップをつなぐ 「ペイパル・チャイナ・コネクト」プログラムを日本で開始

中国銀聯や中国建設銀行とのコラボレーションにより

中国の海外ネット購入者、「海淘」（ハイタオ）ユーザーへリーチ

PayPal Pte. Ltd.（本社：シンガポール、東京支店カンントリーマネージャー：エレナ・ワイズ（Elena Wise）、以下「ペイパル」）は、「海淘（ハイタオ）」ユーザーと呼ばれる海外ネット購入を行う中国の消費者と、ペイパルの 1000 万を超える全世界のショップをつなぐ「ペイパル・チャイナ・コネクト」プログラムを、日本でも開始することを発表します。これにより、「ペイパル・チャイナ・コネクト」プログラムのパートナーである銀聯国際、中国建設銀行（大手銀行）、SMZDM（大手 EC サイト）などのハイタオユーザーと、日本国内のペイパルを利用しているビジネスをつなぎ、越境 EC を促進していきます。

中国における E コマース全体は、今年 5,903 億人民元となる見込みで、2016 年には 7064 億人民元となって前年比 20%で成長、モバイルでの購入は 1352 億人民元から 2011 億人民元へ、前年比 49%で成長すると予測されています。^{*1} 特に中国の消費者による海外ネット購入に関しては、実に 5 人に 1 人は積極的に海外から購入すると回答しています。2014 年には日本の EC サイトでの購入が前年比 55.4%の増加を記録し、訪日観光客の 81%増加と呼応した「爆買い」の広まりがネットショッピングにおいても顕著であることを示唆しています。^{*2} なお購入国別でも、2014 年時点で日本は米国、香港、英国について 4 位となっており、人気の購入先として認識されています。^{*1}

ペイパルは、越境 EC におけるグローバルスタンダードとして 203 の国と地域、100 通貨以上に対応しており、デジタルウォレットという次世代の決済サービスとして 1 億 6900 万人が利用する利便性と安全性を兼ね備えています。中国においてペイパルは、海外ネット購入者に最もよく利用されている決済サービスとして、2010 年よりすでに銀聯カードに対応しており、発行総数 50 億枚の銀聯カード会員が安心・便利に海外ネット購入を行うことを可能にしております。

「ペイパル・チャイナ・コネクト」プログラムは銀聯カード、中国建設銀行、SMZDM.com 等とのコラボレーションにより、消費意欲が旺盛な中国の海外ネット購入者・ハイタオユーザーとペイパルを利用する世界中の 1000 万以上のショップやブランドを結びます。具体的には各パートナーが抱



えるハイタオユーザーを、ペイパルを導入頂いているショップやブランドへ送客し、これまでリーチが難しかった中国ユーザーへプロモーション支援を行ってまいります。このたびプログラム第一回目のキャンペーンとして、国内からは NISSEN、代理購入サイト「Buyee」、Cosme.com をはじめ合計 15 社が参加いたします。

「ペイパル・チャイナ・コネクト」プログラムの第一回目のキャンペーンは 10 月 23 日から 11 月上旬までを予定しています。なお、本プログラムはさらに 11 月中旬の「シングルスデー（独身の日）」や年末年始などにも実施を見込んでおり、継続的なプログラムとして日本国内のショップやブランドを支援していく予定です。

ペイパルが消費者に選ばれる理由はいくつかあります。ペイパルにおいては、カード情報をショップやサービス側に提供することなく決済ができること、不正検知システムが全取引を 24 時間 365 日監視することで不正取引が未然に防げること、そしていざという時の場合、不正取引の被害額をペイパルが保護する「買い手保護制度」が存在することで安心・安全な利用が実現しています。また、ID とパスワードを入力するだけで、カード番号を都度入力することなく購入ができ、場合によっては名前や住所なども再入力不要で購入ができるため、様々なショップやブランド、ゲームや動画サービスなどを幅広く利用するユーザーには非常に便利な決済方法です。さらに、中国の利用者には、「届いた商品に不具合がある」「説明と著しく違う」などの場合、返品の際の送料をペイパルが負担する「無料返品サービス」を提供しているため、ペイパルの利用は年々増えております。

また、ペイパルが決済サービスとして、ショップやブランドに選ばれる理由もいくつかあります。E メールだけでカード決済が可能になるなど簡単に誰でも使い始められること、手数料が手頃なこと、月額費用などの固定コストがないこと、最短三日で売り上げを現金化できること、24 時間 365 日の不正監視サービス、年中無休の電話にてのカスタマーサポート、そしてショップやブランドなど店側が受ける不正利用から保護する「売り手保護制度」により被害額をペイパルが負担するサービスなどがポイントです。^{*3} さらに、中国の海外ネット購入者のうち 57%がスマホをつかって購入した経験があると答えていることから^{*1}、ペイパルのような決済画面の自動モバイル対応や自動多言語対応、またアプリに直接決済を組み込む仕組みの重要性もショップやブランドの間で一層高まっています。

2020 年の東京オリンピックを控え、海外からの観光客の増加によってインバウンド市場（訪日外国人観光客による国内消費）は拡大の一途を辿っています。国内における観光事業者および EC 事業者の海外ユーザー対応がますます重要度を増す中、ペイパルは越境 EC におけるグローバルスタンダードとして日本のショップやブランドを支援し続けて参ります。

*1 PayPal - IPSOS Cross Border Shopping Study (2014)

*2 経済産業省「電子商取引に関する市場調査(2015)」

*3 「売り手保護制度」は物販のみ対象です。また諸条件を満たす必要がございます。



■nissen について (www.nissen.co.jp)

nissenは、日本で40年の実績をもつ大手通販です。現在、日本国内会員3000万人以上。2010年にグローバルサイトを開設、海外会員登録は100ヶ国以上にのぼります。著名なタレントやアーティストとのコラボレーション、日本国内外のファッション誌等に掲載される商品をはじめ、レディース、キッズ、大きいサイズ等のファッションから美容商材・雑貨小物まで、多岐にわたる日本企画商品を店舗やカタログ、インターネットを通じて販売しています。ニッセン海外専用サイト (www.nissen.com)には、香港サイトとグローバルサイトがあります。香港サイトは中国語（繁体字）、グローバルサイトは日本語、中国語（繁体字・簡体字）、英語でご利用いただけます。

■Buyee について (buyee.jp)

tenso株式会社が運営する代理購入サービス。日本の通販商品・オークションの代理購入・代理入札として2012年に開始、ヤフオク、Yahoo!ショッピングでの海外からの商品購入を可能にしている。国内ECサイトから商品情報をBuyee内に取り込み、海外のお客様へ商品購入の決済から海外発送、カスタマーサポート、翻訳などの問題を国内通販サイトに代わって全て代理で行う国内通販サイトの越境ECを無料でサポートするサービスです。

■Cosme.com について (www.cosme.com)

化粧品クチコミサイト「@cosme」を運営するアイスタイルの100%連結子会社で、化粧品ECサイト「cosme.com」の運営しています。2015年5月より「cosme.com（英語版）」(www.cosme.com/en)の展開をしております。

■ペイパルについて

ペイパルは1998年に設立以来、お金のやりとりをもっと自由に、もっと安全にすることを目指し、一貫してデジタル決済のイノベーションに努めてきた米シリコンバレーのテックカンパニーです。ペイパルは、消費者に対して安心・便利なネット、リアルそしてモバイルでのショッピングや個人間送金*1を実現するデジタルウォレットサービスを提供する一方、ビジネスに対してはシンプルかつ低コストな決済ソリューションから、越境EC・訪日観光EC、モバイル・アプリ、シェアリングエコノミー(C2Cスキーム)、または次世代ショッピング&デジタルコマースまで対応できる幅広いプロダクトやサービスを提供しています。現在では203の国と地域で、100通貨以上での決済、57通貨で銀行口座への入金、26通貨*2での支払いの受け取りが可能なネット決済のグローバルスタンダードとして、1億6900万人および1000万のビジネスが世界中でペイパルを利用しています。ペイパルは世界をリードするオープンデジタル決済プラットフォームとして、昨年40億件の取引を決済し、うち10億件はモバイル決済でした。

ペイパルに関する詳細は about.paypal-corp.com をご参照ください。また PYPL financial information については investor.paypal-corp.com をご参照ください。ペイパルの日本語サイトは www.paypal.jp となります。

(※1) 日本では個人間送金および個人の銀行口座からの支払いには対応していません。

(※2) 日本では22の通貨に対応しています。